



平成 27 年 12 月 1 日

各位

会 社 名 ツインバード工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野水 重明  
(コード番号 6897 東証二部)  
問合せ先 総合企画管理本部長 小林 和則  
(TEL . 0256 - 92 - 6111)

## 中期経営計画策定のお知らせ

当社は、新たに 2015 年度を初年度とする 3 カ年の中期経営計画(2015 年度～2017 年度)を策定しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 重点施策

近年の国内少子高齢化、デジタル社会、グローバル化等の外部環境の変化に適応するため、(1)ブランディング、(2)海外事業の推進、(3)スターリングクーラー事業(以下、SC事業)の推進の 3 本の矢を重点施策とし、併せてガバナンス体制の強化により、継続的な成長と収益力の強化を図ってまいります。

#### (1)ブランディング

当社は“一緒に、つくる。お客様と。”のブランドプロミスの下、全社一丸となって「日本で一番お客様のお声を大切にする小型家電メーカー」として価値共創型企業ブランドの構築を推進します。体験型ショールームを備えた日本橋ゲートオフィスや、ホームページ、SNS、コールセンター、アフターサービス等のお客様との接点を通じてお客様のお声を頂戴し、ツインバードの強みである「小ロット、多品種、スピーディーな」企画開発力を活かして、お客様のニーズをもとにした商品やライフスタイルのご提案を行ってまいります。また、世界的に知られる新潟県燕三条地域のモノづくりの経営資源やネットワークを活用し、経営理念の通り、お客様に「感動と快適さを提供する」新商品とサービスを創造してまいります。

## (2)海外事業の推進

当社は、連結子会社である双鳥電器（深圳）有限公司による中国販売事業の拡大、及び、韓国・台湾・香港等の代理店との取引深耕に加え、インドネシア等の東南アジアを中心とした市場開拓により海外事業を積極的に推進してまいります。羽田、成田に近くアクセスの良い日本橋ゲートオフィスを営業拠点として、これまで以上に海外のお客様としっかり向き合い、ニーズを捉えた商品開発により、日本企業の「安心・安全・信頼」をご提案してまいります。

## (3)S C事業の推進

スターリングクーラーは、当社が2002年に世界に先駆けて量産化に成功した冷却システムです。2013年にはJAXA(宇宙航空研究開発機構)からご依頼を頂き、当社のスターリングクーラーを搭載した冷蔵庫が国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」で採用されております。このS C事業は、国内外の販路開拓により2014年に初めて単年度黒字化致しました。現在はターゲット市場と開発製品とが明確になっており、主に医療分野での着実な事業化を進めるとともに、マイナス200℃まで冷却可能なクライオクーラーの技術開発と量産化に注力してまいります。

## 2. 経営数値目標（連結）

（単位：百万円）

	2015年度	2016年度	2017年度
売上高	14,500	15,000	16,000
営業利益	880	1,000	1,200
経常利益	780	850	1,000
当期純利益	430	500	700

（注）本計画に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値や、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

以上